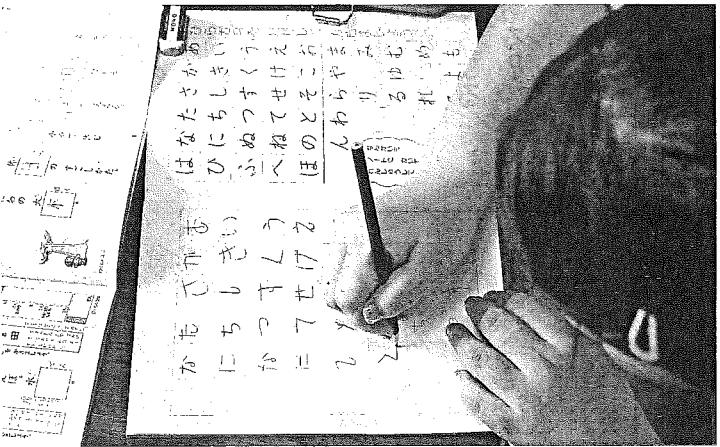


「大人の都合で」子が犠牲



ひらがなを練習する17歳まで無戸籍だった女性=兵庫県内で、三村政司撮影

男性は窃盗などの罪で5回服役したことがある。最後の服役から20年近くたって大阪で日雇いの仕事をしていた時、行きつけの喫茶店で知り合った女性との間で子どもができた。「この子を前科者の子にしたの、将来結婚できな

は貧困や親のモルヒーネクト(音
兒放棄)も指摘されている。
「ハンドセルほしい」。学
校帰りの子どもたちをじっと
見つめ、娘が言った。一言を黙
い出すと、今も涙がにじむ。
兵庫県内に住む男性76人は、
娘(23)を17歳まで戸籍がない
状態においたことを深く悔い
て居る。

●「前科者」影響恐れ

戸籍がない

中

●入院が転機に

●経済的に厳しく

法務省の調査（先月10日時点）では、無戸籍者6,605人うち、母親の失踪など不規則とみられる理由で戸籍に記載されていない人は、少なくとも50人。文部科学省が今年3月、1,421人の無戸籍者の小中学生を対象にした実態調査では、経済的に厳しい家庭環境を明らかになった。通

娘の先のことを考えると、夜も眠れない」と漏らす男性。「大人の都合でごめんね」。目を赤くした男性の言葉に、娘は「うん」とつぶやいた。

住民票があるのに居場所が分からない、「所在不明」の子どもが社会問題化しているが、無户籍の人は存在自体が社会に認知されていない。早稻田大の棚村行政教授は家庭法で米国では出生した病院の医師や助産師が出生届を出す仕組みがある。離婚の増加や困などで家族が機能しなくなっている中、家族だけに届け出をする今の制度は見直すべきだ」と話す。〔反橋希美〕

娘は、母親の女性の戸籍に入
る形で無戸籍が解消された。
男性と娘は今、生活保護を
受けて暮らす。娘は字の読み

学している141人の35%が
就学援助を受けており、うち
生活保護を受けているのは全
児童の平均の8倍(12%)。
「根本的改善」の実現度合いは、